

令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和6年2月13日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)服部 徹
 問合せ先責任者 (役職名)上席執行役員 感動創造支援本部本部長 (氏名)加藤 康章 (TEL) (052)551-0274
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の業績(令和5年4月1日~令和5年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	2,666	5.3	91	—	99	—	77	—
5年3月期第3四半期	2,533	23.0	△28	—	△12	—	△24	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	146.43	—
5年3月期第3四半期	△45.48	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	4,552	3,297	72.4
5年3月期	4,398	3,168	72.0

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 3,297百万円 5年3月期 3,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
6年3月期	—	30.00	—		
6年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の業績予想(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	6.4	100	—	120	—	100	—	188.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期3Q	540,000株	5年3月期	540,000株
② 期末自己株式数	6年3月期3Q	9,363株	5年3月期	9,363株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期3Q	530,637株	5年3月期3Q	530,733株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類となったことにより、行動制限の緩和が進み、経済活動は回復基調にありました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

このような状況のもと当社では、より一層のサービス向上を心掛け、お客様が安心してご利用いただける環境創りに努めるとともに、積極的な営業活動に努めてまいりました。

その結果、売上高は26億66百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は91百万円（前年同期は営業損失28百万円）、経常利益は99百万円（前年同期は経常損失12百万円）、四半期純利益は77百万円（前年同期は四半期純損失24百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

【シネマ事業】

シネマ事業においては、「名探偵コナン 黒鉄の魚影」、「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」、「君たちはどう生きるか」等のアニメ作品が好調に推移し、コロナ禍からの回復傾向が続いているものと思われまます。

コンセプション等付帯施設の販売強化にも取り組み、収益の改善にも効果が出てきております。

また、日ごろから皆様にご愛顧いただいております「ミッドランドスクエア シネマ」では9月1日に来場者2000万人を達成いたしました。平成19年3月オープンから16年半での達成でありました。

さらに、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」では、11月3日に来場者1,000万人を達成いたしました。平成20年10月のオープンから15年での達成でありました。

当期の主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編 運命」、「劇場版TOKYO MER～走る緊急救命室～」、6月公開「東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編 決戦」、7月公開の「キングダム 運命の炎」、11月公開「ゴジラ-1.0」、「首」、洋画では、5月公開「ワイルド・スピード ファイヤースト」、6月公開「リトル・マーメイド」、「インディ・ジョーンズと運命のダイヤル」、7月公開の「ミッション:インポッシブル デッドレコニング PART ONE」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 黒鉄の魚影」、「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」、5月公開「劇場版アイドルリッシュセブンLIVE 4bit BEYOND THE PERIOD」、7月公開の「君たちはどう生きるか」12月公開「ウィッシュ」、「劇場版SPY×FAMILY CODE:White」、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)では、4月公開「滝沢歌舞伎ZERO FINAL 映画館生中継」、5月公開「浜田省吾『A PLACE IN THE SUN 渚園 Summer of 1988』」、8月公開の「ゲキ×シネ『薔薇とサムライ2～海賊女王の帰還』」などの番組を編成いたしました。

その他、トークイベント付上映会、予告上映&宣伝大会やお笑いライブ「よしもと名駅四丁目ライブ」など、バラエティに富んだラインナップを揃えてまいりました。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi. Coo.」では、より安全で健康に配慮した季節限定メニューのご提供、また各種イベント等を実施しながら、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、映画作品などのコラボレーションでシナジー効果をもたらし、売上の改善を図ることができました。

その結果、当事業では売上高は24億27百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は83百万円（前年同期はセグメント損失22百万円）となりました。

【アド事業】

アド事業においては、各種イベント・展示会の開催も徐々に活気を取り戻している中、お客様のニーズを捉えた営業活動を継続し、顧客満足度を上げるよう努めてまいりました。同時に、一層の業務の効率化を進めてきた結果、前年同期と比べ売上高は持ち直したものの、資材の高騰による影響等から厳しい状況で推移いたしました。

その結果、当事業では売上高は1億80百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント損失は12百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業においては、既存賃貸物件の稼働状況・賃料水準は概ね堅調に推移しましたが、一部の賃貸物件で契約期間満了に伴い、賃貸収入が減少しました。

その結果、当事業では売上高は58百万円（前年同期比4.7%減）、セグメント利益は20百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は45億52百万円となり、前事業年度末に比べ1億53百万円の増加となりました。主な要因は投資その他の資産の増加94百万円等となっております。

負債合計は、12億54百万円となり、前事業年度末に比べ24百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債の増加16百万円等となっております。

純資産は、32億97百万円となり、前事業年度末に比べ1億29百万円の増加となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の業績予想につきましては、令和5年5月12日公表時から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,481	757,963
受取手形及び売掛金	234,217	240,796
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	9,655	14,884
原材料及び貯蔵品	2,243	2,048
前払費用	29,999	30,313
預け金	47,032	56,160
未収還付法人税等	1,919	2,292
その他	23,944	26,952
流動資産合計	1,416,493	1,431,412
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	836,463	879,288
構築物（純額）	466	9,239
機械装置及び運搬具（純額）	34,909	40,744
工具、器具及び備品（純額）	240,414	211,903
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	—	28,745
有形固定資産合計	1,808,166	1,865,834
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	64,106	50,498
無形固定資産合計	65,254	51,646
投資その他の資産		
投資有価証券	553,102	671,690
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	516,026	492,380
長期前払費用	29,281	29,216
投資その他の資産合計	1,108,410	1,203,287
固定資産合計	2,981,830	3,120,767
資産合計	4,398,324	4,552,180

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	371,008	373,629
リース債務	60,981	58,403
未払金	33,350	6,514
未払法人税等	7,244	20,652
未払消費税等	29,212	-
未払費用	99,851	126,531
契約負債	45,957	54,810
従業員預り金	4,304	5,671
賞与引当金	17,750	8,935
その他	43,092	74,407
流動負債合計	712,754	729,555
固定負債		
リース債務	177,819	148,939
退職給付引当金	75,330	73,609
長期末払金	21,500	21,500
資産除去債務	88,515	89,623
受入保証金	88,152	84,620
繰延税金負債	65,752	106,672
固定負債合計	517,070	524,964
負債合計	1,229,824	1,254,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	128,327	96,488
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	205,836	283,537
利益剰余金合計	2,781,663	2,827,526
自己株式	△71,755	△71,755
株主資本合計	2,979,921	3,025,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	188,578	271,876
評価・換算差額等合計	188,578	271,876
純資産合計	3,168,500	3,297,661
負債純資産合計	4,398,324	4,552,180

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	2,533,242	2,666,375
売上原価	1,343,043	1,314,573
売上総利益	1,190,198	1,351,801
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	25,658	31,130
人件費	442,549	461,098
賞与引当金繰入額	8,560	8,935
退職給付費用	7,406	5,732
減価償却費	136,046	126,436
地代家賃	304,479	301,402
水道光熱費	63,963	61,644
修繕費	2,930	3,532
その他	227,089	260,470
販売費及び一般管理費合計	1,218,684	1,260,381
営業利益又は営業損失(△)	△28,485	91,419
営業外収益		
受取利息	1,902	1,909
受取配当金	9,880	12,800
助成金収入	9,748	-
協賛金収入	198	350
その他	2,417	1,983
営業外収益合計	24,147	17,043
営業外費用		
長期前払費用償却	4,551	4,551
その他	3,332	4,676
営業外費用合計	7,884	9,227
経常利益又は経常損失(△)	△12,222	99,235
特別利益		
固定資産売却益	-	116
特別利益合計	-	116
特別損失		
固定資産除却損	-	708
特別損失合計	-	708
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△12,222	98,643
法人税等	11,916	20,943
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,138	77,700

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	2,212,209	—	—	2,212,209	—	2,212,209
飲食店関連	85,829	—	—	85,829	—	85,829
看板製作及び広告関連	—	174,155	—	174,155	—	174,155
顧客との契約から生じる収益	2,298,039	174,155	—	2,472,195	—	2,472,195
その他の収益	—	—	61,047	61,047	—	61,047
外部顧客への売上高	2,298,039	174,155	61,047	2,533,242	—	2,533,242
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,298,039	174,155	61,047	2,533,242	—	2,533,242
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△22,028	△29,089	22,632	△28,485	—	△28,485

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	2,322,388	—	—	2,322,388	—	2,322,388
飲食店関連	105,256	—	—	105,256	—	105,256
看板製作及び広告関連	—	180,548	—	180,548	—	180,548
顧客との契約から生じる収益	2,427,645	180,548	—	2,608,194	—	2,608,194
その他の収益	—	—	58,181	58,181	—	58,181
外部顧客への売上高	2,427,645	180,548	58,181	2,666,375	—	2,666,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,427,645	180,548	58,181	2,666,375	—	2,666,375
セグメント利益又は セグメント損失(△)	83,230	△12,761	20,950	91,419	—	91,419

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。